

No.201
2019
3/28



はちおうじ

JR東労組
八王子地本
八王子地本
ホームページ
「東労組八王子」で検索



JR東労組ステーションサービス協議会申3号「2019年度賃金引上げに関する申入れ」 団体交渉で組合員の苦闘を訴える!!

JR東労組ステーションサービス協議会は3月25日に申3号「2019年度賃金引上げに関する申入れ」による団体交渉を行い、各職場で奮闘している組合員の努力に報いることを強く訴えました。

【組合からの主旨説明】

新しい人事・賃金制度導入から1年が経過する。魅力ある会社、安全で働きがいのある職場を目指してきた。新規人材確保は順調な経営に不可欠。健全な企業体質を創り上げること、技術継承ができる職場風土を維持・発展させることは急務な課題。これまで組合員は様々な場で力を発揮し、業務改善、会社の発展のため日々奮闘してきた。仕事や日常生活においてモチベーション向上と生活水準の向上を実感できるように改善すべき。組合員は注目しており、今年の期待は極めて大きい。我々の強い決意と主旨を理解し、基本給一律6,000円の満額回答と定期昇級実施を要請する。

【組合の主張】

- 昨年は災害等の多発により、異常時・輸送障害時の対応に苦慮してきた。
- 今後、オリンピック・パラリンピック対応への要員の不安がある。
- 遠隔操作システムおよび大宮の北改札コーナーの拡大、品川での遺失物など旅客対応件数が増加し、苦労している。
- 年末の新幹線車両故障等で旅客対応した組合員の努力に報いるべき。

【会社の主張】

- 輸送障害もあったが、大きなトラブルにならず駅業務を担って頂いた社員の皆様に感謝している。
- 人件費を削るとは言わないが、営業費用を抑えて対応する。
- お客様の立場に立って、今後も愚直な対応をお願いしたい。
- 新幹線駅、相互での情報の連携をとっていきたい。

労苦に報いる賃上げをかちとろう!!